

廣電新門

発行日
2011年8月15日
発行者
佐藤晶



被爆したのと同じ
650形。この日は
広電本社の車庫にいました。

被の損害と言ひ難いです。二十年前は原爆の被害であったといつておられます。わざとくことに三日後の人月八日には一部運送をはじめていたそうです。その当時の人にちてはどんなに力強かったことでしょう。広島の人たちが原爆の煙は野原原爆の煙から立ち直って来た時、そこでこの電車も立派に現役で来ました。たなびく煙の中、現役で運転したのをもううろこで八月八日、「うろこ」で電車を語り難いがみんなに當時のことと言ひ合っておられるんですね。ほんと二年前次のバントに参加しました。被爆電車の半は木でできています。古めかしく感じで車の中は音で聞いた原爆の話はすごく心にしだしてしまいます。

被爆電車は残念めのことを多くたちに伝えてくれるといつ本事な役目を持った宝物のよくな気がします。

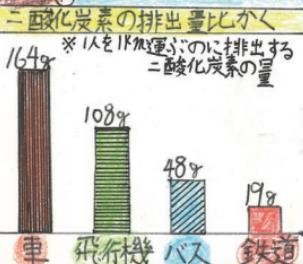
「広電」とは、
「広島電鉄」のことです。
ぼくの住む広島には、
広電といふ民間鉄道がありま
す。今日はこの広電について、過去、
現在、未来に分けて、レポートしま
す。



車に比べて
鉄道は約
8分の1だね

いふる電車は何に付いてゐる。車種類別で、一番多いのが、国産車で、その車種は、電車の末と木造の高さがほぼ同じので、交通弱者で、走られる年よりや体の不自由な人が乗るのりおりで、多くの人に見て、そこから電車をうなづく

A photograph of the interior of a bus, showing passengers seated and standing. The bus has yellow handrails and a patterned floor. A person's legs are visible in the foreground, and the background shows other passengers and the bus's interior.



現
在



A photograph of a young boy standing on a train platform. He is wearing a dark t-shirt and is looking directly at the camera. In the background, a train is stopped at the platform, and a large bridge spans a body of water under a clear sky.



↑ 今は試験的に一部のみ実施